

松尾倶楽部で宮原君講演の代講を

上原 昇（2組）

上田高校同窓生中心で構成される親睦団体「松尾倶楽部」では、7月例会の小林淳一君（11組）による講演に引き続き、12月例会も65期の演者による講演会を開催することになりました。JETRO（日本貿易振興機構）のニューデリー・センター所長を務めた宮原豊君（9組）による『私とインドを結ぶ縁』という話がなされる予定でした。ところが宮原君が体調を崩してしまい講師が出来なくなり、本人のたつての希望により、急きょ、筆者（上原）が代講を務めることになりました。

12月6日（土）の午後、日本教育会館内（千代田区一ツ橋）の「泰南飯店」での講演会には、上田高校同窓生とそれ以外の会員35名が参集しました。

講師が変わっていたことを知らずに来た人もいて「何故、宮原でなくて上原が出てくるのか？」と不思議そうな顔もチラホラで、想定外の会となりました。

65期は筆者その他に丸山隆平君、小山佳朗君（9組）、原田義則君（3組）、岡田修君（11組）そして懇親会のみ参加の櫻田喜貢穂君（7組）の6名です。

冒頭、同会代表幹事の近藤正昭さん（69期）から今回の経緯について説明があつて、その後、筆者が舞台に立ちました。

実は、同倶楽部での宮原君のインド講演は6年前に企画され準備も整っていたのですが、コロナ禍の影響で中止を余儀なくされました。その間、同倶楽部の代表幹事だった白井透さん（60期）が亡くなったり、宮原君が日印協会を退職したりして、お蔵入りになってしまいました。今年に入って再開の話が持ち上がり、宮原君もやる気十分でしたが、病気により今回の次第となりました。



筆者としては、宮原君作成のスピーチ原稿を見ながら1時間ほど〔朗読〕した後、出席者からの質問や意見に答えなくてはなりません。

筆者にインドのことを尋ねられても無理なことは分かっていたので、インド経験が長く、宮原君と親しい71期で後輩の南澤巖さんに予め助っ人を頼んでおきました。

インドの解説や講演の補足コメントをしてくれた南澤さんには感謝します。

講演は前半がJETRO時代のインド新幹線建設へ至る裏話、後半は退職後のボランティア活動（壁画修復事業）についてです。壁画修復の話は宮原君が当HPに何度も投稿しています。

講演を始める前に「この中に印度へ行ったことのある人は？」と尋ねたところ、7、8名の手が挙がりました。やはり印度は遠い国なのです。

講演の中味に興味ある人は、後日、当HPに掲載予定の録音データを聴いてください。

なんとか代講が終わると、参加者の何人かから「宮原さんの話を聞きたかったが、親しい友人の上原さんが代講してくれ良かった」と言ってもらえたのは有難いことでした。

講演会の後は賑やかな懇親忘年会に移りました。宮原君と同郷（青木村）の櫻田君も駆けつけて、東京青木会や宮原君が執筆した本の紹介などをしてくれました。

筆者としては大役を果たしてほっとしたところですが、あとは宮原君の回復を願うばかりです。
以下は参加者から寄せられたコメント（レポート）です。

◆丸山隆平君：上原君から「宮原君が松尾俱楽部でインドについて講演する予定だったが、病気入院で出来なくなってしまった。ついては彼の原稿を代読するので、その様子をHPに投稿して」と依頼があった。
宮原君と私の関係は、高校での名簿から始まった。丸山の「マ」と宮原の「ミ」で一人置きで、それがずっと続いた。高校2年の時、ふたりで北陸を旅行した。
大学1年（彼は2年）の時、宮原、栗原剛、赤尾晴夫、丸山の4人で穂高登山を、社会人になってからは頻繁にカラオケ大会を楽しんでいる。

12月6日、神田の日本教育会館を探し探し辿り着いた。

同期の出席は6名。講演の内容は後日、HPで公開されると聞いた。

懇親会では上田千曲や丸子実業のOBの方々とも知り合いになって貴重な体験だった。

◆岡田修君：インドについては何も知らないので、興味深かったです。

講演に出てくる香雪による長野善光寺雲上殿の壁画は。小学6年のときには長野市に住んでいたので見た記憶があります。

◆小山佳朗君：ご苦労様でした。他人の創作文物を、そこに込められた思いと併せて発表するのはとても難しいことかと思います。講演はスムーズで感心しながら拝聴しました。宮原君の快癒を祈ります。

◆原田義則君：ご苦労様でした。宮原君が準備した講演資料と講演原稿に加えて、宮原君に関わる上原君の適切な補足情報の追加もあり、長年にわたる日本とインドとの浅からぬ関係を再認識することが出来た有意義な講演会でした。

◆南澤 嶽さん（71期）：上原さんの発表で、内容的にはインドへの宮原さんの熱い思いは出席者に通じたのではないでしょうか。



インドに詳しい南澤さん⇒

◆近藤正昭さん（69期、松尾俱楽部代表幹事）：充実した内容で代
講いただき有難うございました。



挨拶する近藤代表幹事

（写真は松尾俱楽部事務局提供）

（2025年12月9日 記）

以上